

復命書

2008年4月21日

静政会 代表
伊東 稔浩 様

議員名 佐藤成子

下記のとおり、政務調査費による視察を実施したので、ご報告します。

1 日 時	2008年4月19日	
2 視 察 先	(1) 都 市 名 視 察 先 施 設 等	東京都千代田区紀尾井町 剛堂会館
	(2) 対 応 者	女性のための政治スクール 第4講 重村智計 早田大学国際教養学部教授 蒲原基道 厚生労働省社会援護局障害保険福祉部生涯福祉課長
3 目 的	10回シリーズの毎年参加の女性政治スクール。毎回タイムリーな講師が新鮮なテーマを講義。かなり刺激を受ける。広く自己研鑽する場として参加している。又全国各地から集まっている地方議員の情報交換の場としても期待できる。	
4 内 容	<p>(調査事項・調査結果を具体的に)</p> <p>重村智計氏</p> <p>『韓国大統領訪日と東アジア情勢』</p> <p>この度、始めて、4年生大学卒業の大統領が誕生した。李明博大統領は、保守層の支持を半数以上受けて当選した。現在韓国は、経済状態が非常に悪い。大学卒業の就職率が50パーセントを切っている。経済成長率が4パーセントで、雇用なき成長といわれている。彼が当選したのは、思想よりも経済回復ということではないのか。日本の企業は進出したがらない。労使協議に悩まされる事が多い。又日本とは、歴史認識の違いがあり、なかなか難しい所がある。韓国人にとっては常識なのに日本人は知らない歴史認識のずれ。又韓国人は日本の戦後の変化を知らない。隣の国の歴史を教える時間が必要だ。日本史の1部を韓国史として学ぶ。被害者意識のみ助長される。日本は外国史にしている。事実上の日本史をまったく日本人が知らない。総司改名は、自分自身の置き換えてみたらどうだろうか。現在の日本の学生は、漫画で知っている。靖国参拝が何故悪いのか理解できない。事実関係を知らない。又朝鮮半島のもう一つ</p>	

の問題は、北朝鮮の問題。いかに小さな国で、軍事力が無い国かを世界の人達は知っていない。昨年の国家予算が、4000億円で、鳥取県より少ない。油が無いから戦争できるはずが無い。中国から50万トンの原油がいつているが、3割しか取れない。戦争には最低32万トン必要といわれている。ちなみに日本の自衛隊は150万トンつかっている。

何故戦争が起きるのか？相手に過度の恐怖を抱いたときと指導者の判断ミスで起きる。とは、ツキジデスの言葉だ。日中・日韓・中東イスラムなどお互いの理解不足だ。

マスコミが、北朝鮮の過度の恐怖心をあおっている。体制の維持を北朝鮮は望んでいる。2002年の9月、小泉さんの訪韓で解決した事になっている。当時の小泉首相は、安否の情報提供のみ要求していた。拉致問題よりも、自身の支持率低下が気になっていたのだ。帰せとは言わなかった。この辺が、外交問題の大事な所だ。北朝鮮は、拉致1人当たり10億円ぐらい払えと言っている。8人死亡4・5人生きていて、2004年まで、横田さんは生きていた。1度死んだと言った人を帰せない。かなり嘘で固めているのが分かる。にもかかわらず、日本の要求が通らないのは、リーダーの判断ミス。金正日は生きていますか居ないのか？影武者説もある。引田天行のところに連絡が入ったらしい？やはり分からない国北朝鮮だ。

蒲原基道氏

『急速な少子化の進行と少子化対策の新たな展開について』

働き方の問題だ。女性が働き続けられる環境の整備が必要だ。家庭で子育てしている人の負担感が余りにも大きい。諸外国と比較してみると、合計特殊出生率はかなり低い。国民の子育てをめぐる希望と現実が剥離している。若者の非正規雇用者の増加も少子化に拍車をかけている。男性も長時間労働をしている。就労に関係なくすべての子育て家庭を支える仕組みが必要だ。就学児童などの育つ場所作りがひつよう。保育所の待機解消。ワークライフバランスを考えなければならない。又障害児福祉の充実も重要なことだ。福祉と教育のバランスの大切さ。障害児支援はライフステージに併せた一貫した支援が必要だ。地域・行政・家庭の支えあいで解決していく方法の模索が大切になっているのに。。福祉、とか教育と分けられない領域がある。重なり合って支えあっていかなければならない。縦割り行政が良くない。改善していかなければ。。幼保一元化など前進形なのかな？

5 成果・市政への反映等

ブルーリボンの会などの活動だけではできないこと、政治の道具に使われないように見守らなければと思った。歴史認識の違いなどもう少し学ばなければと思う。朝鮮通信使400年の記念の年。行列に参加しその歴史の1部を体感できたのは良かったが、まだまだ理解が足りない。通年の継続勉強が必要だと思った。企画したいものだ。

少子化対策はハード面ばかりではないのは、蒲原氏は、よく分かっているようで安

心した。また、国の政策の縦割り行政の弊害をよくよくご存知。自身が 2、3 箇所所
管を移動されて、わかっている様子。横断的政策をまず国でお願いしたい

文科と厚労省の横断の話。期待します。

昨年、私は、子育ての特別委員会所属だったのですが、男性委員の見解と温度差があ
ると実感しました。行政はこれでもかと支援し過ぎだ！とのことでしたが、子育ては
これでいいということではないので、し過ぎは無いと思いました。やはり、男性の意
識改革がまだまだ必要と思った次第です。